

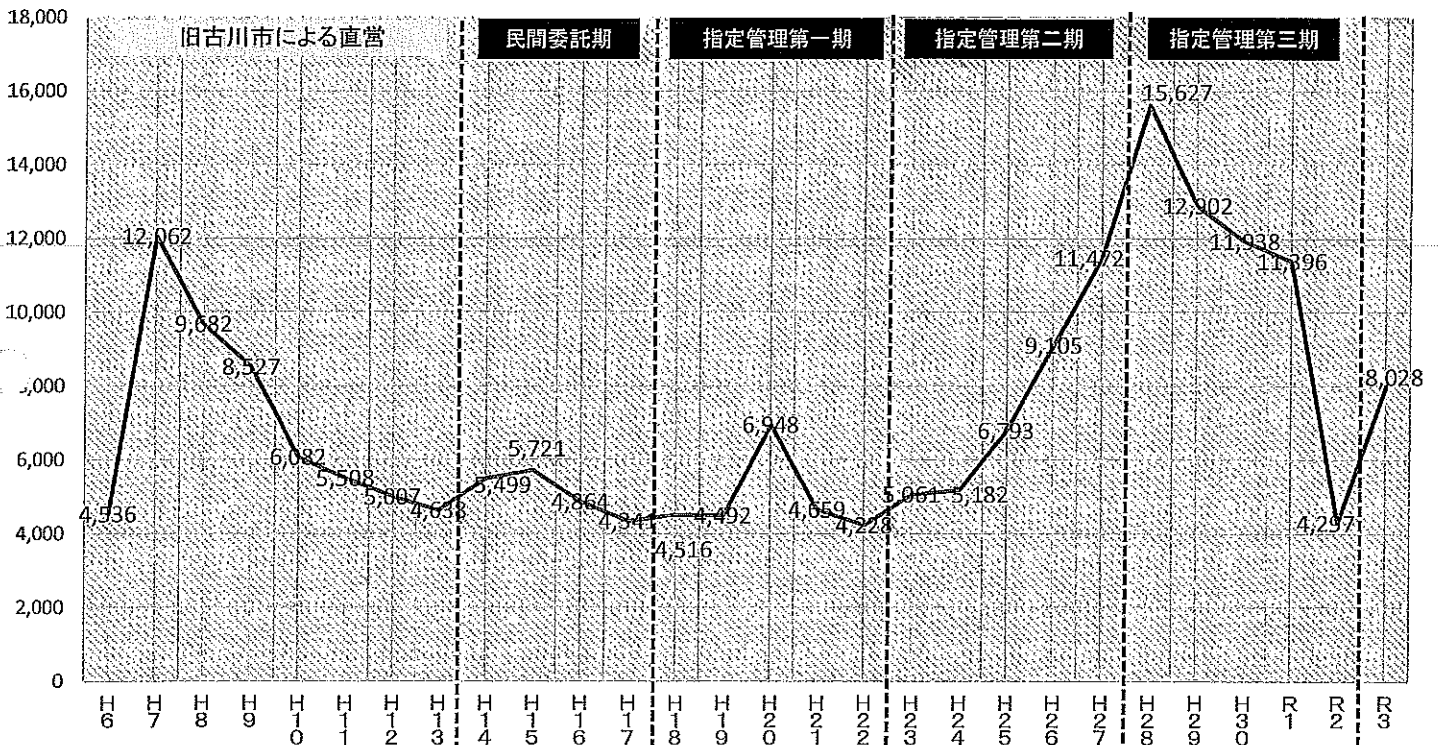
項 目	担当（正◎、副○、総括◇） 進捗結果：☆、△、×の3段階で評価
<p>○ 吉野作造の精神の継承と発展（現実化） （新規取組）生誕143～4年記念事業（吉野作造通り、ラッピングバス・タクシー、夜行バスナーミング）、<u>NPO活動充実に向けた勉強会</u>、<u>提言6課題の実現に向けた取り組み</u>、<u>募金を原資に社会教育（宮チャレ）絵本制作</u>、（WITH Corona 対応の推進）全体として電子化、リモート化促進</p>	<p>◎全員（法人理事会、記念館職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の事業（×継続） ・勉強会（法人×継続、職員○継続） ・課題（×継続） ・募金（☆）絵本（☆） ・PC整備（△）、P J、W i - F i 整備（☆） ・リモート（△）
<p>○ 吉野作造の思想と構造、政治学・政治学の研究や紹介（教育と研究、WITH Corona対応） （新規取組）<u>受賞者講演会</u>、<u>先人展</u>、<u>講座の充実</u>、<u>公文書研修へ参加</u>、<u>研究紀要の充実</u>、<u>客員研究員制度導入（模索）</u>、<u>第三期デモクラシー塾（県選管・高校と連携）</u>、<u>企画展・人材育成事業のリモート開催</u>、<u>電子配信に工夫</u></p>	<p>◎小嶋 ○佐藤 ○大益 ◇氏家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新友の会、講座（☆継続、拡大の方向） ・先人展（△企画展で実施：永沢、青沼） ・公文書研修（☆継続）・研究紀要（☆） ・客員研究員（×継続検討） ・第三期デモクラシー塾（☆県選管委託） ・リモート（☆講演会や人材育成で実施）
<p>○ 市民に親しまれ愛される記念館（市民への普及と市民の参加、WITH Corona型） （新規取組）巡回展、出前講座新規拡大、<u>吉野コーヒーの地元セット販売</u>、<u>高校展</u>、<u>文化祭へ展示</u>、<u>市民ボランティアの NETWORK</u>、<u>こども参加を</u>、<u>大崎を考える集い（児童生徒、市民）ミニ展示</u>、リモート検討</p>	<p>◎佐藤 ○本間 ○菅原 ◇氏家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回展（△年度末再開）、出前講座（☆） ・コーヒーセット販売（×継続） ・高校展・文化祭展示（×） ・市民ボランティアネットワーク化（×継続） ・つどい（×継続）・参加型企画展を今後検討 ・学校向けハンドブック制作・配布（☆） ・ジュニア検定（☆新規で180名）
<p>○ 有料入館者、記念館利用者の増加（県内外からの研修や見学での利用） （新規取組）先人展、第四回吉野社会貢献活動表彰、<u>第二回フェローシップ</u>、<u>ツアー企画</u>、<u>学校向け活用ハンドブックの制作・配布</u>、<u>ジュニア検定</u>、<u>スタンプラリー</u>、</p>	<p>◎佐々木 ○本間 ◇氏家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者昨年度比の1.5倍（△） ・先人展というより絵本の原画展（☆） ・第四回吉野社会貢献活動表彰（☆） ・第三回フェローシップ（×第三回で継続）・ツアー企画（×コロナで中止） ・スタンプラリー（☆）
<p>○ 友の会（市民大学）の展開、歴史分野のフィールド（環境・芸術・産業・歴史・文化）の拡大 （新規取組）友の会の参加分野、協力等に工夫、<u>大崎文化研究会開催視野に展開準備</u>・<u>今後の展望</u></p>	<p>◎小嶋 ○大益 ◇氏家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新友の会（☆会員増には至らず。継続） ・市民ボランティアネットワーク化（×継続） ・大崎文化研究会（×継続）
<p>○ 記念館の環境整備（労働環境、設備や備品類の環境整備、空調） （新規取組）<u>友の会がボランティア支援隊</u>、<u>客員研究員制度導入（模索）</u>、<u>NPO活動充実に向けた研究及び提言</u>、<u>WITH Corona 対応環境整備は継続</u> 新規</p>	<p>◎佐々木 ○大益 ◇氏家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会がボランティア支援隊（×継続） ・客員研究員制度導入（×継続）、 ・NPO活動充実研究と提言（△継続） ・コロナ対応（☆継続）
<p>○ 記念館運営の改善（収益増、効率化対策） ○ 感染症対策の実施 ○<u>ホームページリニューアル</u></p>	<p>◎佐々木 ○大益 ◇氏家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料入館者（△コロナ減収） ・感染対策（☆）・ホームページ（×継続）

事業分類		詳細	実施時期
資料収集・保存・研究調査・展示・活用等	資料収集・保存	吉野作造に関する資料を収集し適切に保存・整理を行う他、展示や調査研究に供するなど の活用をはかる。 ・企画展示室の照明をLED電球へ切り替えを行った。 ・大崎市へ令和3年度として寄贈・購入等を行った資料64点の資料台帳を提出(3/16)	通年
	資料保存環境の保持	収蔵資料の次世代継承のため、良好な保存状態を長期的に保つ。 ・臨時休館日(年2回)を設けガラスケースの清掃を6/1、12/1に行った。	
企画展	市民的関心に合ったテーマの企画展を開催し、広く吉野の思想や業績などを伝える。 (1)前期「吉野作造と後藤新平」 8/3 関連講座・展示解説会 8/31～9/12 緊急事態宣言に伴い休館▲ (2)後期「公文書で見る明治時代のみやぎ」 翌年4/16記念講演「公文書の意義と公文書館の役割」 東北大学史料館准教授 加藤諭氏	(1) 7/18～9/26 (2) 3/13～4/24	
テーマ展示	利用者にとって親しみやすいテーマを設定したミニ展示を行い、吉野の生きた時代や業績などを学べる機会を作る。 ・ミニ展示「かるたで学ぼう吉野作造」	通年	
教育普及	学校巡回展	郷土の先人である吉野作造を学校教育で活用してもらう機会を作る。 ・古一小 3/10～4/15、古中 3/10～4/28	通年
	市民講座・講演	吉野作造の思想や業績、その他関連する歴史や文化、あるいは民主主義社会に必要な教養などを学ぶ機会を広く提供する。入門、基礎、憲法記念日講演会、郷土史、芸術講座の実施。 (1)憲法記念日講演会「吉野作造と鶴飼信成～二つの国際人と二つの憲法」石村修氏 (2)前期基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」(全4回) (3)学芸員体験講座 (4)後期基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」(全3回) (5)歴史講座「吉野作造の元に集う人びと-雑誌『新人』から新人会へ-」後藤彰信氏	(1)5/3 (2)5/25、30 6/8、13 (3)11/30 (4)12/5、14、19 (5)3/13、27
	リファレンス対応	外部利用者による記念館所蔵資料の活用促進、吉野作造に関する研究活動の支援など	通年
	読売・吉野作造賞受賞者講演会	現代社会や政治に関する優れた最新研究を広く市民に普及するため、「読売・吉野作造賞」(読売新聞社、中央公論新社)受賞者を招いた講演会、その他贈賞式への参加など (1)記念講演「経済政策の歩みを考える-平成経済からコロナ危機まで-」小峰隆夫氏▲ (2)記念講演「デジタル化は新興国をどう変えるか?～求められる日本の新たな役割」伊藤亜聖氏	(1)4/18 (2)11/27
	吉野作造検定	学齢児童の吉野作造に対する認知度、理解度の向上を目的とし、小学生以上を対象とした検定試験の実施(ジュニア・初級・中級・上級) (1)吉野作造ジュニア検定 参加者数170名(うち合格者44名) (2)吉野作造検定試験 参加者数 12名(うち合格者6名)	(1)7～8月 (2)2/13、15
	調査研究公開	吉野作造の思想や業績をよりの確に理解し、広く発信する。また、所蔵資料を活用して吉野作造研究の促進をはかる。 ・研究発表 小嶋翔「社会教育者としての安部磯雄—明治期社会主義思想と都市公共」、他 ・論文 佐藤弘幸「<研究ノート>—一九二八年総選挙における宮城県第一区立候補者の選挙運動」	通年
出版事業	吉野作造研究の刊行	学芸部による調査研究活動その他の成果公開、また吉野作造研究者による研究成果を掲載。 ・350部刊行	3月
吉野作造研究賞	吉野作造に関する分々の若手研究者の優れた成果を表彰し、吉野作造研究の促進や研究者ネットワークの構築をはかる。 隔年での募集、審査、表彰、記講演会の開催、また講演録を研究紀要『吉野作造研究』に掲載。 ●最優秀賞(2作品—記載は応募順) ・熊谷英人氏著『フィヒテ「二十世紀」の共和国』(岩波書店、2019年2月) ・古田拓也氏著『ロバート・フィルマーの政治思想—ロックが否定した王権神授説』(岩波書店、2018年8月) ●優秀賞(2作品— “) ・渡部亮「『大正デモクラシー』の政党化構想のゆくえ—社会民衆党の「議会主義」に注目して」(『史学雑誌』128巻8号、2019年8月) ・松本洵「初期議会自由党の〈党議〉—議会制度下における一体性の模索」(『国家学会雑誌』132巻9・10号、2019年10月)	通年	

事業分類		詳細	実施時期
指定管理事業	吉野ネットワーク 交流事業 人材育成研修会	吉野作造研究者のネットワークづくり及び政治学等の分野を志す大学生の育成を目的とし、吉野作造や大正デモクラシーに関連したテーマを設定した研修会の開催。 (1)オンライン研修会 テーマ「女性の政治参加」 ▲ ・基調講演「議会に女性を送ろう！」 大山礼子氏(駒澤大学) ・分科会①「廃藩置県150年と吉野作造」 苅部直氏(東京大学) ・分科会②「明治150年記念事業と戦後日本における歴史意識」 奈良岡聰智氏(京都大学) ・分科会③「近代日本の画家たちが描いた東アジア—表象の推移とまなざしの政治性」 朱琳氏(東北大学) ・全体討議 (2)助成事業 学術研究および社会実践活動奨励(5名) ▲	(1)9/17、18
	情報発信・ 市民交流	記念館だより 旧年度の事業紹介及び新年度事業計画の公開、市民へ無料配布あるいわインターネットでのPDF公開。 ・「吉野作造記念館だより第30号」の発行	3月
		ネット活用 当館の活動や市民向けサービス・催事情報等をホームページ、各種SNS、メールマガジン等を通じて情報発信。	通年
	情報公開	館報の発行 物品販売や入館者状況など数値上の実績等を掲載	年1回

▲: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更となった内容

吉野作造記念館 入館者状況



開館からの累計 203,111名

事業分類	詳細	実施時期
人づくり（教育貢献）	中学生以下を対象した入館料減免 (1)学習の一環として記念館を見学する場合の中学生以下の入館料免除 (2)小学生・中学生を対象とした職場体験の受け入れを行い、次世代を担う子供たちにとっての職業体験の場を提供。今年度の受け入れは無かった▲	通年
	主権者教育 (1)宮城県内の高校生を対象とした出前講座、講演会 ・古川高校1～3年生(5/7)、泉松陵高校▲、泉館山高校2年(12/3) 古川学園高校3年生(12/17、21) (2)高校生選挙啓発活動サポート事業 宮城県選挙管理委員会と連携をはかった取組み(委託事業) ・参加：古川高校、古川黎明高校、古川工業高校、古川学園高校、大崎中央高校 ・ファシリテーター：(一社)おおさき青年会議所 ・ワークショップの内容： 第1回 選挙についての講話、第2回 グループ討議 第3回 グループ討議(他校混合、自校校)、第4回 自校での取組みの発表 第5回 最終報告会 (3)親子で選挙に親しんでもらうための絵本づくり★ ・絵本の原画制作(前年4/上旬～本年4/末)、絵本3000部刊行(7/31) 大崎市役所にて記者会見(8/6)、当館での原画展(10/5～10/17) 大崎市図書館でのパネル展(3/18～)	(1)通年 (2)7/24、8/5、 8/19、10/2、 2/11 (3)4月～
	高校生デモクラシー塾 高校生ミライカイギ（高校生選挙啓発活動サポート事業との連携事業）	通年
街づくり（地域貢献）	芸術文化振興 子どもの社会性を育てることを目的とした芸術コンクールや展示会を開催した。 (1)おおさき芸術コンクール★ 内容 テーマを設定し、絵画および写真の作品を募集。 対象 大崎市内の小学校、中学校、高校、支援学校の在校生 応募 絵画の部41点、写真の部5点 (2)チャリティ展覧会(募金箱を設置)★ 会場 吉野作造記念館 (3)大崎市へ寄付 寄付額 30,000円(コロナ対策費として)	(1) 7/15～9/20 (2) 10/30～11/28 (3)11/28
	市民交流 (1)GW ちいさなこどもの日イベント▲ ・お楽しみ劇場、みんなのメッセージ、他 (2)クリスマス会▲ ・クイズラリー (3)生誕記念イベント ・記念講演「吉野作造と絵本-家庭や学校での幼児教育・児童教育を考える-」 ・おおさき社会貢献大賞表彰式、吉野作造フェロシップ採用企画発表、 作文コンクール表彰式★	(1)5/5 (2) 10/30～11/28 (3)1/29
	吉野作造フェロシップ(第3回) 主に大崎市内の29歳以下が、これから取り組もうとする社会貢献活動の企画を応募してもらい、採用企画には奨励金や各種支援(会場利用、広報協力等)を行った。 ・「中学校区の地域コンテンツを探り、その魅力を発信して社会貢献を試みる」 古川西中学校 ・「RoboMatchおおさき」RoboMatch おおさき	1/29発表
	吉野作造記念おおさき社会貢献大賞(第4回) 主に大崎市内の高校生以下を対象とした優れた社会貢献活動を表彰した。 ・最優秀賞 古川中学校福祉委員会「新型コロナ禍の最前線で活躍される医療従事者と地域の方々への横断幕作成及び贈呈、募金活動」 ・優秀賞2団体、奨励賞4団体、努力賞4団体	1/29表彰式
	キッズ教育支援 主に大崎市内の小学生を対象とし、夏休み作文コンクールの開催★ ・テーマ ①「私たちが暮らす地域の未来について考えたもの」 ②「私たちが暮らす地域の歴史や文化について考えたもの」 ・応募 51作品 ・大正デモクラシー賞「大切なもの」 遠藤翼 ・最優秀賞 高校生の部「歴史の真価」 遠藤空 中学生の部「ジュニアリーダーが紡ぐ未来」 佐藤菜々夏 小学生の部「未来の鳴子 よりよい町へ」 遊佐椿乃	応募締切 9/10 表彰 1/29
未来づくり（次世代育成）	高校生・大学生以下入館料免除 ・学習の一環として吉野作造記念館を見学する場合の入館料免除	通年
	弁論大会 宮城県高校生弁論大会の開催および弁論集発行 ・「第3回宮城県高等学校弁論大会および第3回吉野作造記念弁論大会」を開催 吉野作造特別賞 「温もりのバトン」山田知紗希	大会・表彰 12/10
	健康増進 NPO法人ハッピーート大崎との協力事業 ・吉野作造記念館休憩ラウンジを活用した食育や健康増進に関する無料相談等	通年
	他団体への協力 (1)NPO法人synapse40への協力 ・共生社会の実現に向けた市民フォーラム 第一部 講演会「友愛と相互理解による地域社会の発展」 加藤俊治氏 第二部 誰もやらない子ども駄菓子屋プロジェクト・寄附行為 (2)南三陸SAP(スマイルアゲインプロジェクト)への協力 ・被災地支援事業 (3)おおさき日本語教室への協力	(1)12/11 (2)(3) 通年

▲:新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更となった内容

★:宮城県共同募金会からの助成金によって実施する取組み